



プライベートゾーン について学びました

6月19日(水)に「たいせつなからだ」をテーマに、体を清潔にすることとプライベートゾーンについての授業をしました。20日(水)から水泳授業が始まることも見据えて、**自分の体も周りの人の体も大切にしてほしい、という担任と私の願いから**です。

まず、私たちの体には、**内側から出るよごれのもと、外側から体につくよごれ**があるよ、と説明します。すると、子どもたちからは「あせ!」「ウイルス!」「うんち!!」と次々声が上がりました。体には、目に見える/見えないいろいろなよごれがつくことがある、と確認したあと、「よごれがついたままだも別にそのままでもいいんじゃない?ちょっとぐらい平気でしょ!」と私が言うと、子どもたちは「ダメー!」と口をそろえて言います。「**ウイルスが体に入って病気になる」「汗をほうっておくとくさくなる」「食べかすをそのままにしておくとむし菌になる**」…子どもたちはいろいろなことを知っていました。

「だから体を毎日清潔にしておくことが大切なのかぁ~!」とみんな納得した様子。そのあと、教室をお風呂場に見立てて体をすみずみまできれいに洗う練習をしたり、音楽に合わせて手洗いの練習をしたり、トイレでの拭き方を確認したりしました(前から後ろに向かって拭く)。

そうして、もう一つ大切なお話を。「プライベートゾーン」についてです。**プライベートゾーンとは、下着や水着で隠れるところ(胸・性器・おしり)と口の**ことを言います。



1年1組、前のめりで聞いています。



1年2組、上手に手洗いの練習♪



おしりも忘れずにきれいに洗うよ!

【プライベート=自分だけの】【ゾーン=場所】だから、簡単に人に見せたり、触らせたりしてはいけない大切な場所であることを押さえました。ある子は「だからプールでは水着を着るんだ!」と言ってくれました。**プライベートゾーンのルールは、**
 ①見せない・見ない ②触らせない・触らない ③写真を撮らない
 例外として、けがや病気の時はプライベートゾーンであっても自分を守るためにおうちの人・お医者さんに診てもらふことが大切であることも伝えました。保健室でも、必ず本人に確認し、同意を得てから診ています。

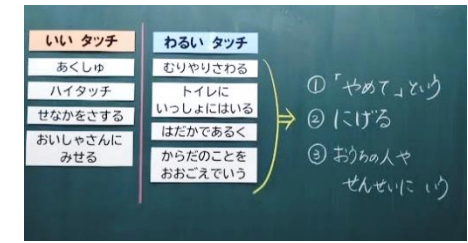
プライベートゾーンについて学んだあとは、応用編として「いいタッチ」「わるいタッチ」クイズをしました。握手やハイタッチは?無理やり触るのは?いろいろな場面を想定して楽しくクイズで学びます。「握手をするとウイルスがうつっちゃうかも…」と心配する子ども…。しかしすかさず、「手をきれいに洗えばいいんだよ!」と声が上がります。さっそく学びがいきっています。

もし、**プライベートゾーンのルールをやぶる人が現れたら、**
 ①「やめて」と言う ②逃げる ③近くの大人にすぐに言う
 というもしっかり確認し、立候補した児童に出てきてもらいロールプレイで①~③の練習をします。私が友達役や知らない大人役になりきり、「〇〇さん、トイレのお部屋と一緒に入ろうよ!」「きみ、可愛いから写真撮ってもいい?」などと誘います。最初は上手にできない子ども、「やめてって言うんだよ!!」「逃げて!」という友達の応援を受けて、①~③ができるようになりました。**特に低学年の子どもたちの性被害は、性の認識がないために予防することができなかつたり、被害があってもすぐに相談できなかつたりする問題**が指摘されています。低学年のうちから自分の身を守る性教育が大切だと考えています。

最後に、はじめに提示した「たいせつなからだ」というテーマにたちかえり、「たいせつなからだ、って誰の体のこと?」と子どもたちに問いかけます。「自分の体!」と子どもたち。「そうだね。…それだけ?」という、子どもたちはハツとしたように「友達の体もだ!!」と気付きました。**大切な自分の体と同じように、友達の体も大切。だから、暴力や人が傷つくことをしてはいけないんだよ、と伝えました。性教育は命にかかわる教育です。ご家庭でも今回の授業をきっかけにお話をしていただければ幸いです。**



学習のために、イラストを準備しました。



「お医者さんに見せる」は少し迷った子もいます。



「トイレと一緒に入ろうよ」「イヤ!」



おすすめの
本です。